

# 管 理 委 員 会 よ り

平成23年6月3日開催の管理委員会において、中干し期間は下記のように決定いたしました。

## 中干し期間は

# 6月20日より6月30日まで

に決定いたしました。

この期間中は揚水を停止いたします。(塩害地区を除く)

# 揚水の再開は7月1日から(予定)

なお、停止期間及び再開日は天候により変更される場合があります。

## 中干しの意義

水管理は多収穫に欠かせない大切な栽培技術です。特に中干しは稻の生育上重要なポイントとなります。

### 一 根を丈夫にする。

中干しを行うことにより土中に酸素を供給しまた、有害な有機物質の発生を抑え、根の活力を向上させます。

### 二 無駄な分けつを防ぐ。

いつまでも水を張っておくとチツソの吸収が続き茎数が増えすぎます。中干しをすることにより、チツソの吸収をおさえ、茎数を抑制して茎が太く倒伏しづらい稻になります。

### 三 一度田面を固めて

早期落水を防ぐ。コンバインが田に入れなくなると、早く水を落としてしまう早期落水は、実張りの悪い粉になります。遅くまで水を入れてもコンバインの入りやすい田にするため、中干しの時期に一度田面を固めています。

## ●電力事情のこと

政府は5月13日、電力需給緊急対策本部の会合を開き、東京電力と東北電力管内の企業や家庭に一律15%の節電目標を求める総合対策を正式決定しました。

農業は、他の製造業のように休みを分散するなどの措置はとれませんが、水管理を徹底することにより節水にもなりますので、ご協力をお願いします。

# 農業用水の取水量は限られています！！

利根川から取水する水量については、許可水利権のため総量規制、期別規制があり、それ以上の取水は出来ません。組合員の皆様には、ご理解いただき円滑な通水ができるようご協力をお願いいたします。

また、下記の点に留意され、下流地区に水が行き渡るように分水口の調整等、水管理をお願いいたします。

### 細やかな 水管理を

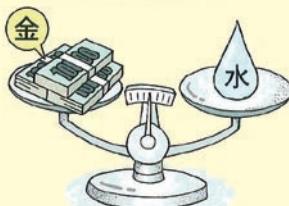
農業用水はお金のかかった大切な水です。適切な水管理を心掛けましょう。



- 両総用水は補給水です。利根川からの年間取水量8900万トンの制限があります。

### 用水不足を 引き起こす

田んぼに用水のかけ流しをしていませんか？



- 田んぼに水を溜めたら、取水の停止を心掛けましょう。
- 用水のかけ流しは下流での水不足が発生します。

※雨天時は日雨量20mm以上で揚水機場を停止いたします。